

*LILO Monthly Seminar*

今どきの  
**Linux 日本語入力環境**

中本 崇志

**[bluedwarf@post.plala.or.jp](mailto:bluedwarf@post.plala.or.jp)**

**<http://bd.tank.jp/>**

2006 年 6 月 17 日 (土)

# 自己紹介

1985年生まれ

千葉出身

京都大学

工学部

物理工学科

機械システム学コース

3回生

「霞」の開発者



■ デモしながら見ていきます

■ キーワード

- ▶ Input Method (SCIM, uim, IIIMF)
- ▶ かな漢字変換エンジン (Anthy, Canna, Prime, skk...)
- ▶ 手書き入力、再変換

## ■ XIM

### ■ 例: kinput2+Canna

- ▶ 醜い
- ▶ 使いづらい
- ▶ 低機能

かつては、どの Linux 本を見ても kinput2 + Canna の設定方法が書いてあったが ...

kinput2 を捨て、  
XIM への依存を無くし  
ましょう

# 新しい日本語入力環境

---

## Anthy + SCIM

- ▶ 高機能
- ▶ 使いやすい
- ▶ 見栄えもイイ

## 採用例

- ▶ Fedora Core 5 の標準 (IIIMF + Canna からの変更)

## かな漢字変換エンジン

- ▶ 連文節変換（当り前のようで、でもすごい）
- ▶ 変換効率の追求（Canna より変換効率がよい？）

## メンテナンスが続いている

- ▶ by 田畑悠介氏 & 吉田悠一氏

# *Input Method* って?

---

## かな漢字変換エンジンとアプリケーションを仲介

- ▶ 入力状態の表示
- ▶ ツールバー
- ▶ 候補ウィンドウ
- ▶ キーイベントの取得

## 代表的なInputMethod: IIMF, SCIM, uim

- ▶ かな漢字変換エンジンとの通信はモジュール化されたプログラムが行う => かな漢字変換エンジンの選択が可能

## 高度にモジュール化がされている

- ▶ さまざまな機能がモジュールによって提供されている
  - ◆ 結果として高機能に

## さまざまなかな漢字変換エンジンに対応

- ▶ Anthy, Canna, Wnn, Prime などなど

## ツールバー

## GUIで設定が行える

## 多言語に対応

# SCIM + Anthy の機能

---

## GUI

- ▶ キーバインドなどの設定

## 再変換機能 (shift+変換)

## 逐次変換機能

## 予測機能

## 親指シフト対応

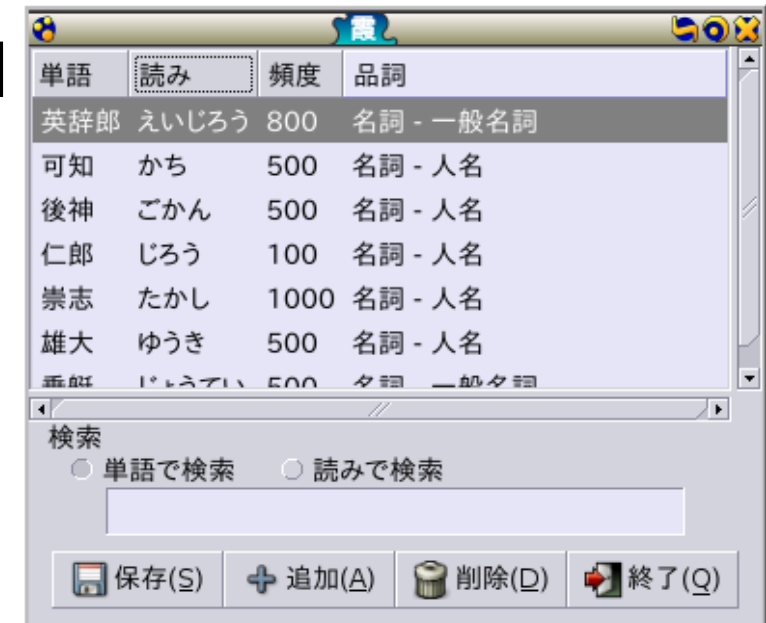
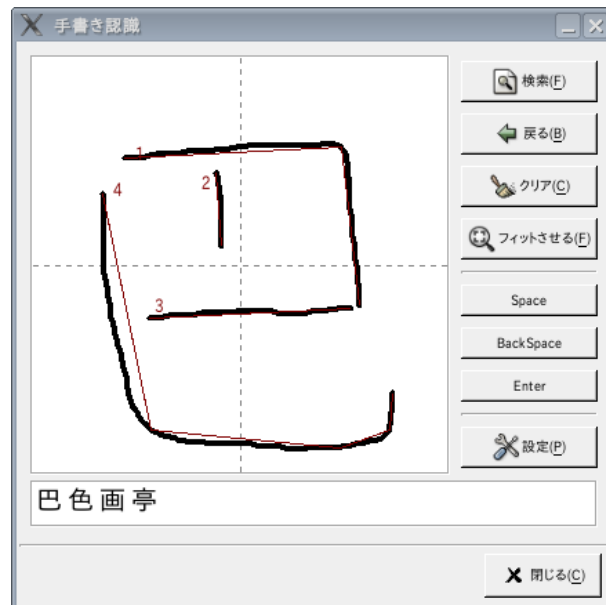
# さらに付加価値を

## 個人辞書の管理

- ▶ Anthy 個人辞書管理ツール「霞」

## 手書き入力

- ▶ SCIM + Tomoe



## MS-IMEもATOKも一通りの辞書管理機能はある

- ▶ が、使いづらい

## 辞書の管理は難しい / 辞書の作成は大変

- ▶ 標準の辞書
- ▶ グループ辞書（勝手に名前つけました）
  - ◆ apt-get upgrade みたいにできたらいいなあ ...
    - ◆ さらに、cvs commit みたいにできたらいいなあ ...
- ▶ 個人辞書

## 私の課題

- ▶ 要望は今のうちに伝えること

# SCIM で使えるその他のモジュール

---

■ Anthy

■ Canna

- ▶ Canna 以外のかな漢字変換エンジンも使える
  - ◆ Canna
  - ◆ natume (Haskell により実装されたかな漢字変換エンジン)

■ skk

■ Prime (Prime: 予測入力型かな漢字変換)

■ etc...

## 機能的にはscimに少し劣る

- ▶ Anthy, Canna, Prime, skk

## メモリなどの要求リソースが少ない

- ▶ 組み込みに最適
  - ◆ IMKit-uim (for りなざう)

## Mac版もある

# *uim* のその他の機能

---

■ Tomoe (手書き入力) のモジュールもあり

■ その他使える機能

▶ uim-fep

▶ uim.el

■ おもしろモジュール

▶ uim-ruby (個人的におすすめ!)

▶ uim-festival

# ***SCIM* とか *uim* のインストール方法**

---

■ ここで紹介したもののほとんどは最新版の機能

- ▶ ソースからコンパイル
- ▶ セットアップ → 結構めんどくさい

■ パッケージになるのを待ちましょう

- ▶ パッケージならほとんど設定せずにできる

# キーバインドとかの設定

---

■ ほとんどGUIで設定できます

■ それでも少し分かりづらいかも

▶ 具体的な要望をしましょう

◆ 「使いづらい」では開発者に伝わらない

▶ マニュアル書いてくれると幸せになれる人多そうです

## あまり流行らなかった

- ▶ 設定やインストールが面倒
- ▶ Fedora Core 2 で採用 (XIM からの脱却に成功)

## 対応しているかな漢字変換エンジン

- ▶ Canna
- ▶ skk
- ▶ ATOKX

## (今となっては)機能的に貧弱

## クライアント／サーバ方式

- ▶ セキュリティ的な問題

# クライアントサーバ方式 1

---

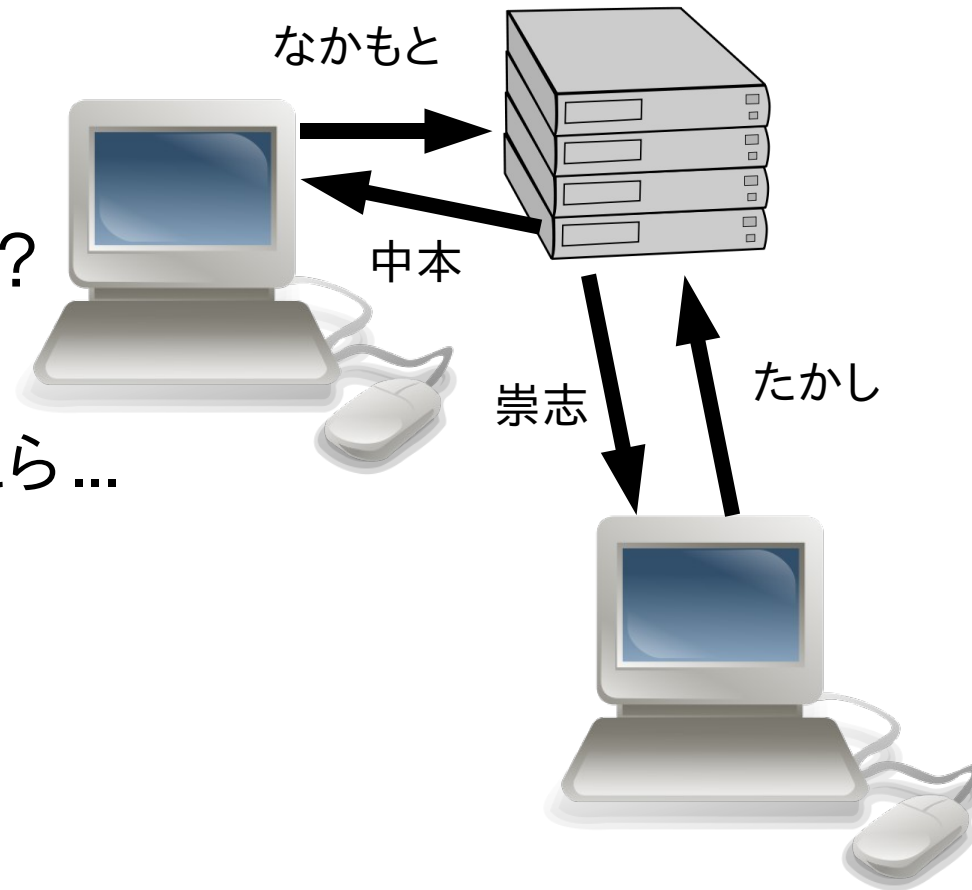
## 1つのPCにクライアントとサーバがある場合

- ▶ メリット無し
- ▶ デバッグとか大変じゃん
- ▶ セキュリティ的に危険

# クライアントサーバ方式2

## サーバとクライアントが別PCの場合のデメリット

- ▶ セキュリティ的に危険
- ▶ サーバ依存
  - ◆ サーバが落ちたらどうするの？
- ▶ サーバの負荷大
  - ◆ みんなでいっぺんに変換したら...



## メリット

- ▶ 辞書管理が一括で行える
- ▶ クライアントのメモリやディスク容量が節約できる

# まとめ&結論

フリーの日本語入力環境は氷河期を経て混沌期へ

混沌期:仕組みが複雑、設定とかよく分からん

- ▶ ディストリビューションのパッケージで解決の方向へ (ブラックボックス化、知らぬが仏)

柔軟(モジュール化)&高機能の方向

まだまだ課題はある

混沌期が終わろうとしている(?)

- ▶ kinput2 + Canna → (混沌)  
→ SCIM (or uim) + Anthy
- ▶ 単なる流行廃りの問題ですが

# 各ソフト等のホームページ

---

Anthy

<http://anthy.sourceforge.jp/cgi-bin/hiki/hiki.cgi>

Canna

<http://canna.sourceforge.jp/>

Prime

<http://www.taiyaki.org/prime/>

SCIM

<http://www.scim-im.org/>

SCIM IMEngine (scim-anthy, scim-canna, scim-prime, scim-skk, scim-tomoe, scim-wnn)

<http://scim-imengine.sourceforge.jp/>

uim

<http://uim.freedesktop.org/wiki/>

Ruby のある風景 (uim-ruby, ruby-festival)

<http://mono.kmc.gr.jp/~oxy/>

IIIMF

<http://www.openi18n.org/subgroups/im/IIIMF/>

Tomoe

<http://tomoe.sourceforge.jp/>

Kasumi

<http://kasumi.sourceforge.jp/>

# 参考文献・URL

---

入力システムの概要

<http://lists.sourceforge.jp/mailman/archives/anthy-dev/2004-August/000998.html>

最適な日本語環境を発掘せよ

<http://kodou.net/unixuser/200405/index.html>

Fedora Project が IIIMF をつけた Input Method システムのテスターを募集

<http://slashdot.jp/linux/04/02/20/1326213.shtml?topic=61>

TUT-Code Web Site

<http://plone.crew.sfc.keio.ac.jp/groups/tut-code>

T-code 修行中 漢字直接入力のすすめ

<http://t.pos.to/tc/>

山形浩生他「Linux 日本語環境」O'REILLY